

2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月17日

上場会社名 株式会社キャリア 上場取引所 東
 コード番号 6198 URL <https://www.careergift.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 川嶋 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 辻村 淳 (TEL) 03-6453-2717
 四半期報告書提出予定日 2021年5月17日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	5,972	△3.6	△53	—	△54	—	△64	—
2020年9月期第2四半期	6,196	15.7	△72	—	△76	—	△72	—

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 △74百万円(—%) 2020年9月期第2四半期 △77百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	△7.53	—
2020年9月期第2四半期	△8.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,146	1,207	37.2
2020年9月期	3,503	1,278	35.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 1,171百万円 2020年9月期 1,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	6.1	50	—	50	967.8	10	—	1.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社ウェルネスキ、除外社 (社名)
 ヤリアサポート

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年9月期2Q	8,624,320株	2020年9月期	8,624,320株
2021年9月期2Q	118,600株	2020年9月期	118,600株
2021年9月期2Q	8,505,720株	2020年9月期2Q	8,504,395株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府から首都圏を中心とした緊急事態宣言が発令されるなど、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響は継続しており、依然として不透明な状況が続いております。

人材サービス業界を取り巻く環境におきましては、厚生労働省が発表した2021年3月の有効求人倍率が1.10倍と低い水準の状態に加え、総務省統計局が発表した2021年3月の完全失業率の指数は2.6%と低水準に留まる等、人材需要は回復しつつも依然として新型コロナウイルス感染症の影響が継続しております。

このような経済状況のもと、当社グループの運営する「高齢化社会型人材サービス」の環境は、内閣府の2020年版高齢社会白書によりますと、当社グループで定義しておりますアクティブシニア(55歳以上の働く意欲のある人)の労働力人口は、2019年度の推計で2,094万人(前年対比2.1%増)、総労働力人口の30.4%を占めております。アクティブシニアの労働力人口は年々増加傾向にあり、当社グループの事業領域も拡大していくことが見込まれます。

このような経営環境の中、当社は継続的な企業価値の向上を実現すべく、既存事業の継続成長及び中長期での業績向上を目的とした新たな取り組みを実施してまいりました。

新型コロナウイルス感染症による影響につきましては、シニアワーク事業のホワイトカラー分野においては、新型コロナウイルス感染症に関連するコールセンター業務を受注し売上高に寄与しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大前に受注していた案件等は受注減となっており、全体的な受注としては、新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準に回復しておりません。一方、シニアケア事業においては、介護施設等に対する派遣事業であり、このような社会情勢下の中でも大きな影響を受けることはありませんでした。

新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、当社は期初に掲げた方針の通り、事業所に係る家賃を削減すべく、東京本社、大阪支店、福岡支店、札幌支店の移転を実施いたしました。移転の実施による当期の業績への寄与は、今期は移転に係る出退店費用等も発生しており、貢献しないと見込んでおりますが、中長期的に当社の業績に影響を及ぼすものと見込んでおります。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比223,997千円(3.6%)減収の5,972,269千円、営業損失は、18,571千円減益の53,822千円、経常損失は、22,013千円減益の54,130千円となりました。これに特別損失、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は、前年同期比8,672千円の減益の64,073千円となりました。

なお、当社グループは、「高齢化社会型人材サービス」の単一セグメントであります。事業別の業績を示すと以下のとおりであります。

① シニアワーク事業

シニアワーク事業は、主にコールセンター、公共機関における事務作業を行うホワイトカラー職種とビルメンテナンス、ベッドメイキング、ロジスティクスなどの身体的な作業を行うブルーカラー職種との2つの分野においてアクティブシニアの人材派遣、人材紹介及び業務請負を行っております。第2四半期連結累計期間では、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していることもあり、シニアワーク事業内における販売費及び一般管理費を圧縮し、利益率の改善に努めました。また、3月にはシニア人材の新たな活用を実現すべく、障がい者雇用支援事業を展開する子会社を設立いたしました。

この結果、シニアワーク事業の売上高は1,893,433千円(前年同期比17.1%減)となりました。

② シニアケア事業

シニアケア事業は、主に介護施設に対して、看護師や介護士等の有資格者の人材派遣、人材紹介及び紹介予定派遣を行っております。第2四半期連結累計期間では、自社求人サイト内のコンテンツを拡充させるとともに、登録スタッフ増加のための広告宣伝の強化、従業員採用の強化を図って参りました。また、一部のエリアにおいては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の為に看護師の派遣案件を受注するなど柔軟に対応して参りました。

この結果、シニアケア事業の売上高は4,078,836千円(前年同期比4.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金などが減少したものの、売掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して357,234千円減少し、3,146,075千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、未払費用、流動負債のその他が増加したものの、短期借入金、未払消費税等などが減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して286,273千円減少し、1,938,858千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより、前連結会計年度末と比較して70,960千円減少し、1,207,216千円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の35.3%から37.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は、1,258,894千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は75,431千円となりました。

これは主に、未払費用の増加93,169千円、のれん償却額33,353千円の計上があった一方、税金等調整前四半期純損失66,523千円の計上、未払消費税等の減少205,989千円が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は48,812千円となりました。

これは主に、差入保証金の回収による収入46,907千円があった一方、資産除去債務の履行による支出45,919千円、差入保証金の差入による支出40,512千円が生じたことによるものであります。こ

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は204,427千円となりました。

これは主に、短期借入金の純増減額200,000千円による支出、長期借入金の返済による支出4,398千円が生じたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2020年11月13日に公表した通期連結業績予想より修正はございません。

なお、この数値の算定につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が2021年9月期は継続する事を仮定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,587,566	1,258,894
売掛金	1,249,072	1,304,278
その他	125,556	85,807
貸倒引当金	△5,388	△4,522
流動資産合計	2,956,806	2,644,457
固定資産		
有形固定資産	45,623	47,873
無形固定資産		
のれん	216,058	182,705
その他	50,670	54,362
無形固定資産合計	266,728	237,068
投資その他の資産	234,150	216,676
固定資産合計	546,502	501,617
資産合計	3,503,309	3,146,075
負債の部		
流動負債		
短期借入金	910,296	710,296
未払費用	713,594	806,764
未払法人税等	2,728	10,263
未払消費税等	374,261	168,271
賞与引当金	50,055	46,063
返金引当金	249	202
その他	96,678	129,420
流動負債合計	2,147,865	1,871,282
固定負債		
長期借入金	22,131	17,733
資産除去債務	55,136	49,843
固定負債合計	77,267	67,576
負債合計	2,225,132	1,938,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	157,590	157,590
資本剰余金	137,590	137,590
利益剰余金	1,092,744	1,028,671
自己株式	△152,306	△152,306
株主資本合計	1,235,618	1,171,545
新株予約権	8,846	12,314
非支配株主持分	33,712	23,357
純資産合計	1,278,176	1,207,216
負債純資産合計	3,503,309	3,146,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,196,266	5,972,269
売上原価	4,963,976	4,748,918
売上総利益	1,232,290	1,223,350
販売費及び一般管理費	1,304,684	1,277,173
営業損失(△)	△72,394	△53,822
営業外収益		
受取利息	37	17
助成金収入	408	6,625
保険解約返戻金	912	—
その他	265	632
営業外収益合計	1,623	7,275
営業外費用		
支払利息	1,810	1,568
持分法による投資損失	3,562	1,429
休業手当	—	3,635
その他	0	950
営業外費用合計	5,373	7,584
経常損失(△)	△76,144	△54,130
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,188
特別利益合計	—	3,188
特別損失		
本社移転費用	—	7,606
固定資産除却損	2,880	7,975
特別損失合計	2,880	15,581
税金等調整前四半期純損失(△)	△79,024	△66,523
法人税、住民税及び事業税	6,310	4,504
法人税等調整額	△7,671	3,400
法人税等合計	△1,360	7,904
四半期純損失(△)	△77,663	△74,428
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,918	△10,355
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,745	△64,073

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△77,663	△74,428
四半期包括利益	△77,663	△74,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,745	△64,073
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,918	△10,355

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△79,024	△66,523
のれん償却額	33,353	33,353
減価償却費	9,926	11,167
固定資産除却損	2,880	7,975
持分法による投資損益(△は益)	3,562	1,429
株式報酬費用	3,621	6,656
新株予約権戻入益	—	△3,188
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,062	△866
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,796	△3,992
返金引当金の増減額(△は減少)	△52	△46
受取利息	△37	△17
支払利息	1,810	1,568
売上債権の増減額(△は増加)	△40,260	△55,205
未払費用の増減額(△は減少)	46,696	93,169
未払消費税等の増減額(△は減少)	77,476	△205,989
その他	△38,030	102,755
小計	31,655	△77,755
利息及び配当金の受取額	37	17
利息の支払額	△1,801	△1,568
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12,321	3,875
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,570	△75,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,845	△1,761
無形固定資産の取得による支出	△26,756	△11,526
資産除去債務の履行による支出	△1,059	△45,919
短期貸付けによる支出	△182	△265
短期貸付金の回収による収入	157	56
長期貸付金の回収による収入	—	4,208
差入保証金の回収による収入	2,182	46,907
差入保証金の差入による支出	△14,617	△40,512
その他	297	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,822	△48,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200,000
長期借入金の返済による支出	△11,016	△4,398
配当金の支払額	△31,801	△29
株式の発行による収入	560	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,257	△204,427
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△70,510	△328,671
現金及び現金同等物の期首残高	1,211,784	1,587,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,141,273	1,258,894

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

当社は、高齢化社会型人材サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。